

【ア】

ジュリオ・アイゼルンマン
星区セリアの創設者。

ガウ・ロウア・アンドリーセン
ドーチャ・アルド

リーシャの部下の一人。次席指揮官。アルドリーシャの数少ない友人の一人。

ウォスフォート・アンテルゼーア
ペルヴィッツ艦隊の作戦先任参謀。

カリンスキー・アウデナール
ペイク艦隊作戦先任参謀。

ケイ・アズマ
連邦空軍情報士官。ヒューレル艦隊情報参謀最終。

ニコラス・アレクセイエフ
ペイク艦隊分艦隊司令官。

アヴドーチヤ・ミアイロヴナ・アルドリースカヤ
燃えるような赤毛の、連邦空軍の女性士官。後にレーフル・ファウルス・ネレイドの麾下に入り、“紅の提督”と呼ばれるに至る。連邦暦56年9月13日生まれ。連邦圏の植民惑星カルシュ・コラルに生まれ、14歳の時にセリア恒星区

のアルドリースキー財団に引き取られて軍人への道を歩むようになる。

チェスター・アブドレイカーツの副官。ミットリッフェル後、帰国。

ヴィルツ・アイネルシャイト
第二次メルティア紛争時の宇宙艦隊司令官の一人。のちに再建されたメルティア宇宙軍艦隊を指揮する。

クリム・アルセナール
コラル自治政府国防務長官。

アーマド・ハジ・アリエフ
コラル自治政府農務長官。

ヴィグール・アレクタ
連邦空軍第九艦隊司令官。

ウォスフォート・アンテルゼーア
連邦空軍士官

【イ】

イェン・シン・ヨー
連邦空軍中佐。リン第三艦隊集団後方先任参謀。

イシドール・ロモノウィッチ・イグナティウス
連邦空軍中佐。兵站士官。レーゲル艦隊後方先任参謀。最終。

【ウ】

リン・ヴァリアント
ペイク艦隊分艦隊司令官。後、第一艦隊集団直衛分艦隊司令官。

ドラグト・ド・ラ・ヴァレット
連邦空軍提督。

エルブレヒト・ヴァレンティン
連邦空軍准将。

ルドルフ・オ・パルヴォス
連邦空軍中佐。リン艦隊（第三）集団情報先任参謀。

ピアッツァ・ヴィッツィーニ
連邦セイモス恒星区政府主席。

ヴィトニー
連邦空軍大尉。駆逐艦『アルファム・サニア』電子戦主任士官。

アイリリン・ウイレム
ファアリアの友人。

フィル・ウイレム
アイリリンの兄。

ロン・ウイレム
アイリリンの父。巡洋艦『フリズチア』副長。

ヴィザール・ヴィトゲフト
連邦空軍提督。

ブレンハイム・ヴェイノールド
連邦空軍准将。ナウシュヒルの参謀長。

アルブレヒト・ヴェーデマイヤー
ネレイド家の執事。

クレイス・ウェーベル
技術士官。コンピュータ・ネットワーク・システムの専門家。連邦空軍技術陣の『至宝』の一人。

クリストフ・ウェーベル
ワイルター艦隊参謀長。

カーウイン・ヴェリユール・ヨント
宇宙軍准将。ドレسن艦隊の部将。

ダウン・ウェルナー
シュレフ・コングロマリット幹部

ウェルワート
マックス艦隊の電子戦士官。ル・ヨント宇宙軍士官。

ヤゾフ・ウェンライト
シャールブックの部下。大佐から後、准将。“ザ・ジャービス”に従う。

ウォッスター
連邦デュレイン恒星区政府外務担当長官。

リンドン・ウォズフレイ
連邦空軍准将。ボルトツ工廠事件で艦隊と共に脱走し、“ザ・ジャービス”に加わる。

ニ・カオフ・ウォロイ
ペルヴィッツの参謀長。ごま塩ひげの老賢者。コイサンマンの末裔。

アーテミシア・ウエルフォース
アリシア・ネイ姉弟の隣家の娘。明るい茶褐色の巻き毛の陽気な少女。ドレド戦役前、ネイとは友人より僅かに以上、恋人より大きく未満という関係だった。

ロマヌス・ウォーレンスタイン
中將。ドレド第四艦隊司令官。

アルフレート・ヴァルゼーダ
クラウゼネックの主

席幕僚。

リカルド・アウラム・ヴァルディカー三世
ファンデルフェルト連邦銀行CEO。シュレフ・コングロマリット最高経営幹部会総帥。

ジャン・エルマー・ヴィツデル
ヒューレル艦隊の情報先任参謀。平和よりも戦乱指向。独立意識が強い情報の専門家。

ダウン・ヴェルナー
シュレフ・コングロマリット系金融機関の経営責任者の一人。

ヴォーシシロフ
連邦陸軍の最後の総帥。クーデターを試み、シャトンヒュッテとレイモンド・ファールに鎮圧される。

ジェイフリック・ヴリンク
メルティア子爵。第二次メルティア紛争時の宇宙艦隊司令官の一人。

マイ・ヴァルトフロツツェ
マールクの前官。クリス・ロークの後任。黒髪・黒瞳のやや陰のある容貌の所有者。白兵戦の名手。ドレド出身。

レンハイル・ヴェシシュテット
第二（ローナク）艦隊の先任指揮官。トゥールの次席。

クレエール・ヴェルエリユーネ
マールクの参謀長。

元戦艦『ドレスト』艦長。大佐から准将を経て少将。

【エ】

ランドルフ・エフゲニードレドの政治家。

エリム
カルシュのストリート・ギャング。

レーム・エルンスタウト・エルヴェニク
『シグナ・フォース』号搭乗員の一人。情報先任参謀。

リティーフ・アントベイル
准将、ル・ヨント第一艦隊先任指揮官。

ニカロフ・エフゲニール・ヨント
宇宙軍参謀本部付き士

官。ザモフの部下。

【オ】

ジュンガリイ・オーリアグリュウガーの参謀長。グリュウガーと意を共にして、カルシュ・コーラルの分離独立のために活動を続ける。

オルデンドルフ

ト宇宙軍士官

ウォロンステッド・オレーグ

宇宙要塞兵站監

クリュッペルの参謀長。ル・ラント

准将。ドライバオム

准将。ドライバオム

【カ】

アルバート・フォン・ガイザー 中佐。連邦空軍兵站士官。

ダン（ダニエル・コンスタンチン）・カイル セリア

恒星区政府主席。

ヴラディミール・レムジイ・カトゥー技術士官。造船工学の権威。連邦空軍技術陣の『至宝』の一人。

カウイツツ ドレド宇宙軍大佐。ベルサリウス大将の幕僚。ライヒスモント・カウリヴァルス 連邦空軍大佐。作戦参謀。

エルウィン・レーフクイ・カーツ 連邦空軍大将。連邦

空軍次長、のちに艦隊最高司令長官。連邦空軍の事実上のナンバー2の地位にある。

エイブラムス・カーラン

少佐。かつてのダークの部下。ル・ラント機動歩兵

ウォストニフ・カリジャウチ

ル・ラント宇宙軍准将。ボックの参謀長。『外道の作戦』立案者。

ナセル・カイフン

ル・ラント第二(ドレシン)艦隊参謀長。

ウェイン・ガーランド

連邦空軍艦載機パイロット。戦死。

フエルトリック・キヤスパー

連邦外務次官。『シュネーゼル事変』直後にも共和国母星へ駐留しており、共和国公用語を流暢に操る。

【キ】

ウォルター・キンネブロウ 少佐。元フットボール選手の巨漢。

ル・ラント機動歩兵

【ク】

レイナル・クアシム セリア恒星区出身の上院議員。ナイズル・ネレイドと対立し、“銀河系大戦”の早期終結を主張している。後にレークシーと大統領の座を争ったが敗れる。

ヤオ・クオロン

共和国メセナの政治家。軍備拡張に反対し、暗殺される。

アーノルド・M・クラウゼネック

軍人。優れた戦術家。シアン・クウェアン 連邦暦32年後半の連邦政府國務長官。ナイズルの閣僚の一人。

カル・クレイン

シュレフ・コングロマリット系金融機関の経営責任者の一人。

ベリヤ・クリーエ

連邦空軍の若手指揮官の一人。ヴァーレーン戦役で准将に昇進。

コルフィン・クラウス

メルティア貴族。第一三代女王ローリアの側近。“茶坊主”とあだ名される。

シャゴール・グリュウガー

辺境警備艦隊司令官の一人。カルシュ・コーラルの連邦圏からの分離独立を狙う。

ヒュンテ・クリュッペル・ラント第八艦隊を率いてコー

ウィン(シュネーゼル)への進出を図り、“シュネーゼル事変”を起こす。元マールク艦隊の情報主任参謀。シュネーゼル

で戦死。

マクシミリアン・グラーフ

ル・ラント宇宙軍第五(マックス)艦隊副司令官。

マージェニー・ケルラー

ル・ラント第七(ヤンデキフィティ)艦隊副司令官。

ステファン・オルロウィッチ・ケルレル

レーゲル艦隊分艦隊指揮官。最終。

【ケ】

マージェニー・ケルラー

ル・ラント第七(ヤンデキフィティ)艦隊副司令官。

ステファン・オルロウィッチ・ケルレル

レーゲル艦隊分艦隊指揮官。最終。

【コ】

リアム・コーンオリース 連邦空軍の提督。ヒューレルの幕僚の一人。ヴラディミール・コヴァレフ 連邦空軍の提督。コーラル自治政府外務長官。

【サ】

ヒューレット・ザーク 共和国の有力政治家。フェレラの後を襲って共和国首相となる。

ヨシユア・アルドリウイッチ・ザハルチェンコ 連邦空

軍准将。艦隊を率いて“ザ・ジャールビス”に投じる。

エイブ・サミュエルソン 連邦ラタウ恒星区主席。

ゴウ・サメジマ

ユーリイ・ザモフ 連邦空軍兵站士官。

アナトール・ザモルク 共和国宇宙軍参謀本部の一員。

参謀将校。ザモフの部下。

【シ】

トルキエスト・ジェレスタ 連邦空軍第四艦隊司令官。

シャローン ドレド宇宙軍少将。ウォーレンスタインの参謀長。

ムハルマディー・シェフトシエア

連邦空軍の提督。ヒューレルの幕僚の一人。

ムスタファ・アリ・ブシク

連邦空軍提督。アンリイ・シャールブツク

連邦空軍第八艦隊司令官。中将。水色の目、銀色に近い金髪の青年提督。

ステイクフェスト・シャトンヒュッテセルメス連邦初代

大統領。第二次惑星統一戦争の英雄。熱核兵器の無制限使

用により、反連邦の立場をとる中小諸国を壊滅させ、セル

メス連邦を成立させる。その後、終身大統領から最終的に

シャトンヒュッテ朝セルメス帝国の建国を目指すが暗

殺される。

レイトウラント・シャブリ

第六艦隊司令官。年齢の割に白いものの目立つ濃い灰色の髪、薄い茶色の目の

ハンサムな青年。共和国暦33年1月2日。通称レイティ。

補給路整備・後方支援作戦のエキスパート。

サン・ジャント

コーラル国防軍大佐、グリュウ

ガリーの副官。
ジェリコウ・シジュケイ

共和国政府植民相、のちに外相。“ドレド戦役”での最後通牒を“書式が違つ”と“却下”したことで知られる官僚政治家。

ベルンハルト・シュレフ シヤトンヒュッテおよび連邦空軍と結んで、『ファンデルフェルト星間貿易』をシュレフ・コングロマリットに発展させた辣腕の事業家。

ジョウブ 大佐。ル・ラント宇宙軍第一四四機動歩兵連隊長。

ヴィシアニー・エルムハイト・シュレ

元ペイク艦隊の参謀長。のちにヒューレルの首席幕僚となる。目が糸のように細く、色白で頬が豊かなため、一見して金持ちの三男坊のような『お気楽極楽』タイプに見えるが、実際には剛毅な武人タイプの軍人。

オーシボヴィ・シュタルク

連邦空軍第三艦隊司令長官。中将。執務デスクが小学生用の学習机にしか見えぬほどの巨漢。

シラキース・シカハマ 連邦空軍ペイク艦隊の幕僚の一人

ヨン・シン 連邦空軍士官学校予科でのレール・ファウルの同窓生。

シャスハ 連邦母星エルレイシア宇宙港管制官。

ファウム・シャベル ドレド宇宙軍中将。第一艦隊司令官。ジョン・ジョーレンズ シュレフ・コングロマリット系金融機関の経営責任者の一人。

【ス】

エンリケ・ヴァルス・スターマー 連邦暦32年後半の連邦政府財務長官。もとファンデルフェルト連邦銀行の重役の一人。ナイザルの閣僚の一人。

カロン・スワティカ ペルヴィッツ艦隊の情報先任参謀。北米先住民の末裔。

レイヴィ・ストロース 元メルティア王国宇宙軍少将。

【セ】

ルイス・ゼイヴィア

ル・ラント宇宙軍機動歩兵少佐。

【ソ】

ラミリーズ・ソヴリン 連邦空軍准将。

【タ】

リー・タウナー

『銀河系大戦』開戦時のシエルメス連邦大統領。連邦史上最も剛毅な大統領といわれ、ル・ラント共和国を“銀河の隣人”として好意的に迎えようとする。

ウエルバロス・ターク コーラル国防軍第三艦隊司令官

ヴィレックス・ターク 大将。ル・ラント共和国宇宙軍参謀本部総長。“悲劇の英雄”としてル・ラント共和国首都の“英雄の丘”に祀られる。

ゲイル・ダーク ローナクの部下の一人。開戦奇襲作戦で連邦空軍の捕虜となる。どこについて特徴のない中年の軍人だが、用兵は堅実。

レーメン・タール ル・ラント宇宙軍少将。のちに中将。かつてのマックス、シャブリの上司。

リヴェルト・ダウン ドレド宇宙軍中将。第三艦隊司令官。ダブー ドレド宇宙軍少将。ウォーレンスタインの部将。

【チ】

ローヴェル・チェレンタ 連邦空軍艦載機パイロット。戦死。

ミアイル・チェルカースク ル・ラント宇宙軍大尉。クリースの仲間。

【ツ】

ニリー・ツェルス 連邦空軍准将。第四四駆逐戦隊指揮官。

【テ】

フェルゴ・テルニート コーラル国防軍第二艦隊司令官。

アンソニー・ディレック 連邦政府農務長官。ナイザルの閣僚の一人。

ガイ・デューン コーラルの首都レアナの警察分署副署長。ロシュの部下。

アルカシヤ・テレコフ 中尉。ル・ラント宇宙軍第一工兵師団付きの軍医。

【ト】

トオゾフ ドレド宇宙軍少将。ウォーレンスタインの部将。

ヒルム・トオワール 連邦空軍少将。第二次メルティア紛争に参加。

“ドク” カルシュ・コーラル・レアナのサブルーダー地区のもぐり医者。

シルウィス・フレイメル・トヒユナ メルティア王国スルフェイク侯爵家の開祖。連邦史上最も謎を秘めた個人と呼ばれる。

シェーンブルン・トヒユナ メルティア王国初代の王。

シューネシュンデ・トヒユナ シュエーンブルンの息子。公爵。ジェフィユスに暗殺される。

ペーネル・トヒユナ 歴代のスルフェイク侯爵家当主の一人。シュエーネシュンデの後継者。

ファアリーア・トヒユナ メルティア・スルフェイク侯爵の長女。マーシャネス・オブ・スルフェイク。水晶色の髪とスカイ・ブルーの瞳の少女。メイリアの姪。連邦暦32年5月5日生まれ。飼う猫はメルシャ。灰白色の毛並みをしたオッド・アイの猫。通称マーシャ。あるいは水晶の剃刀、妖鷹フェアリ・ホークと呼ばれることもある。

ファアリック・トヒユナ スルフェイク侯爵。ラルク・トヒユナの父。著名な歴史家。

シェリア・ハーム・トヒユナ メルティア・スルフェイク侯爵妃。ラルクの妻で、ファアリーアの母。ハーム伯爵家の長女。ブリュネットの髪・マリンブルーの瞳の女性。

ヘルムウェイ・トヒユナ伯爵。第二次メルティア紛争で奮戦し、連邦空軍からも“勇将”と讃えられる。テルス伯爵。メルティア臨時政府国防長官。

ラルク・トヒユナ メルティア・スルフェイク侯爵（マーキス・オブ・スルフェイク）。スルフェイク州行政参事官を兼ねる。連邦暦32年生まれ。水晶色の髪とブルーの瞳

の瀟洒な紳士。メイリアの兄でファアリアの父。

マユ・トマム

デュランの妻。コーティリアの母。植民星ドレドの出身。ドレド戦役で死亡。

ヤン・トゥール

ル・ラント第二(ローナク艦隊副司令官。暗色の髪、ダーク・グレイの瞳のやや茫洋としたところのある青年。用兵の粘り知られ、ローナクを補佐する。

ベイ・ドレスン

第二艦隊司令官。攻撃面の苛烈さと勇敢さから「猛将」と称される。「マールク艦隊の三将」の一人。共和国暦38年2月2日生まれ。元短距離陸上選手。よく陽に焼けた肌の、どちらかと言えば小柄で全身がばねのように引き締まった体躯の所有者。癖の強い黒髪・黒瞳の青年。

デスタリヴァ・ドロク 共和国宇宙軍参謀本部総長。マールクと並んで、宇宙軍ただ二人の元帥の一人。堂々たる偉丈夫。共和国暦38年8月2日生まれ。

【ナ】

ヘルムート・ナイク 連邦空軍第五艦隊司令官。

エイムズ・レイモンド・ナウシヒル連邦空軍中將。第二艦隊司令官。実質的に連邦空軍艦隊の副司令長官を勤める。

レイラー・ド・ナカースル

レイフラムの親友。士官学校卒業後は敏腕の航法士官として昇進し、作戦先任参謀大佐としてレイフラムを補佐する。酒豪。連邦暦38年9月6日生まれ。通称レイ。

アゼル・ナジャン

ル・ラント宇宙軍少佐。オーティエス・ファアンの首席幕僚。

【ニ】

【ヌ】

【ネ】

ハイドリヒ・ネーベルシユタット 連邦空軍の士官。アルドリシヤとともに、後にレイフル・ファウルスの麾下に参加する。薄い金髪と鋼緑色の瞳の堂々たる偉丈夫だが、外見に反して謀才にも恵まれ、レイフル・ファウルスの総参謀長を務めるに至る。連邦暦38年6月2日生まれ。

レイフラム・トゥリユー・ネレイド 銀白の髪、漆黒の瞳の、若い羚羊を思わせるほっそりとした肢体と美貌を持ち合わせた青年。天才的な参謀としての才能に恵まれる。連邦空軍艦隊の総参謀長で少将。連邦暦38年9月1日生まれ。

レイフレム・ナイザルの長男でレイフル・ファウルスの異母兄。極く一部の人々にだけ「レフィ」と呼ばれる。レイフル・ファウルス・ネレイド プラチナ・ブロードの髪と、時として禍々しい金色の光を帯びるブラック・グリーンの瞳の貴公子。レイフラム・トゥリユー・ネレイドの異母弟で、ナイザル・ネレイドの次男。艦載機パイロットとして軍人としての経歴を始める。連邦暦38年9月2日生まれ。

レイフレム・ナイザル・ネレイド レイフラムの父。上院議員で、シエルメス連邦最大の政治的実力者。ギリシア彫像のような男性的な容貌と強壮な肉体の所有者。政治的な野心も強く、「霸王ザ・ダイナスト」、ビッグ・ナイザルなどと通称される。連邦暦32年12月13日生まれ。

レイモンド・ファール・ネレイド 連邦成立期の連邦空軍元帥。シャトンヒュッテとともに連邦を成立させる。チェスター・ファーン・ネレイド レイモンド・ファールの弟。レイモンド・ファールが抱き始めたマリオン・フェアリの軍事的才能への警戒心につけ込み、彼女を連邦空軍から逐わせるとともに、自ら連邦空軍の軍政を掌握してレイモンド・ファールをレイモンド・ファールを追い落とす。

ジャービス・セイヤー・ネレイド レイモンド・ファールの長男。軍事独裁政権を目指すシャトンヒュッテとレイモンド・ファールに反発し、反連邦軍事組織「ザ・ジャービス」を作り上げる。一〇年以上にわたって、反政府活動を繰り広げたが、妹であるマリオン・フェアリに撃破され、歴史から姿を消す。

マリオン・フェアリ・ネレイド レイモンド・ファールの長女。シャトンヒュッテとレイモンド・ファールの覇

業を軍事的に支えた天才的用兵者。兄ジャービスの組織した「ザ・ジャービス」に殲滅的打撃を与え、連邦の最終的成立に偉功を立てる。チェスター・ファーンの策謀により、連邦空軍を逐われ、のち病死する。彼女の死により、レイモンド・ファールは実権をチェスター・ファーンに奪われることになる。

ステイシー・フランセス・ノウラン・ネレイド ナイザル・ネレイドの二度目の妻。レイフル・ファウルスの母。サイモン・ユーズルフ・ノウランの妹。

エリネ・フェアリ・ネレイド レイフラム、レイフル・ファウルスの異母妹。はしび色の光彩と緑色を帯びた黒髪の少女。彼女の兄達の間に容姿の上での共通点を見いだすとするならば、端麗さに尽き、それが全てだった。

“金瞳の邪妖精”とも呼ばれる。38年1月13日生まれ。

【ノ】

サイモン・ユーズルフ・ノウラン

ナイザル・ネレイドの妻ステイシー・フランセスの兄。連邦最大の巨大大資本シユレフ・コングロマリット最高経営会議……通称ビッグ・ブラザーズ……のメンバー。レイフル・ファウルスの伯父にあたる。

エミル・ノーラ 旗艦軍医長。銀色に近い金髪と、ブルー・グリーンの瞳のやや小柄な女性。連邦空軍士官学校セリア恒星区分校の首席であり、在籍中に旗艦乗り組みに抜擢される。

フラー・ノースウッド ペイク艦隊情報先任参謀。のちにレーゲルの参謀長へ転任。

セルゲイ・ノナカ ル・ラント宇宙軍中尉。

【ハ】

ハイザード メルティア男爵准将。第二次メルティア紛争で戦死。

リユーフレット・バイク少将。第一艦隊副司令官。ミュッテルを師と仰ぐ、生真面目な若い指揮官。

アーマド・ハーディン ル・ラント宇宙軍第七ヤンデキファイティ(艦隊情報参謀。

コーティリア・バードフェザー

ル・ラント母星のス

ラム都市イエルスベルグに住むハイスクール・ガール。ル・ラント母星出身の父デュランと、ドレド生まれの母マユを持つために、周囲から偏見の色眼鏡で眺められている。無造作に肩に伸ばした黒い髪 やや猫背気味に見える小柄な少女で、数学とエア・バイクが得意で、宇宙艦操縦資格取得を夢見ている。鼻筋にしわを寄せるような、ちょっと冷笑気味の笑いを、級友たちに“チェシャ”と呼ばれている。共和国暦328年2月26日生まれ。

アルト・ハマヤラ 共和国宇宙軍大佐・ランク艦隊の部将。

ライエル・エルブレッド・ハーム メルティア・ハーム伯爵の長男。シェリアの兄。男爵。

ベフティ・ハーム 伯爵。第二次メルティア紛争時のメルティア首相。

マッシュー・ハルバーステート 連邦空軍第三艦隊参謀長。

カフェ・ハンレー ル・ラント宇宙軍中尉。ジェフェリイ・バード ファロンの先任作戦参謀。ル・ラント宇宙軍士官。

デュラン・バードフェザー コーティリアの父。元共和国宇宙軍の諜報員。のちに中尉となり、ドレド戦役後に退役。いわゆる“バードフェザー事件”を起こす。

グレン・オリス・バーリング 連邦空軍の提督。ヒューレルの幕僚の一人。

バヴロウ テルニートの副官。コーラル国防軍士官。

【と】

アイネマン・ビジョンマウント 新共和国の国務長官。ゲルングロス・ピツテルリンク 連邦空軍准将。レー

ゲル艦隊分艦隊指揮官。最終。ヘンリー・ヒラード 流刑惑星エムスに住む流刑者。コーティリア・バードフェザーの保護者。

ヘルマート・ヒルター メルティア男爵。レンベルト・ヒュッペルナイザル・ネレイドの腹心。

ヒューゴー・ドレド宇宙軍少将。輸送船団護衛指揮官。アリストティア・ヒューレル 連邦空軍中尉。第3

艦隊司令官。スティール・グリーン の酷薄な目の典刑系的

な職業軍人。軍人としての戦術眼と勇敢さとしてはレーフラムやレーフル・ファウルスに劣らないが、余りに酷薄な戦術が“殺戮提督”なるあだ名を生むに至っている。連邦暦328年2月6日生まれ。通称ステア。

フォン・ヒューレン ル・ラント宇宙軍大尉。駆逐艦『レッチャーIX』砲術長。

エイムロフト・レン・ビューロー メルティア・トルガワ侯爵。メルティアでも最大級の勢力を持つ有力な貴族。

カー・レン・ビューロー メルティア・カルフォルミオ子爵。

フルナー・ヒュルツ 第二次メルティア紛争時のメルティア宇宙軍参謀総長。

ブライアン・ヒンクル メルティア・スルフエイク州のバス運転手。

マッシュバー・ピーク 連邦外務長官。リュイス・ピエロストーク 連邦空軍第一〇艦隊

第一分艦隊司令官。

【こ】

ファルケンファイン 連邦空軍士官学校予科エィカベイ

ン校の学校監。オーティエス・ファロンナキヤン要塞防禦司令官。ル・ラ

ント宇宙軍少将。ジェード・ラ・ファン カルシュ・コーラル首都レアナの

ストリート・ギヤングのボス。ファイアモント・ファンデルフェルト シュレフ・コングロ

マリットの前身『ファンデルフェルト星間貿易』創立者。フェルディナンド ル・ラント宇宙軍中尉。キンネブ

ロウの部下。フェルトリック・マーゲン・ファンデルフェルト フィア

モント・ファンデルフェルトの後継者。カタリエフ・フェリケリザム 大佐。レーゲル艦隊

の作戦先任参謀。最終。リチャード・フェルト レーフル・ファウルスの副官。通

称リック。ピセンテ・フェレラ 共和国政府首相。“ドレド戦役”

を最終的に終結させた。“シュネーゼル事変”でシエルメ

ス連邦の存在を知り、友好的な交流を計画する。

コネリアス・フェンネット 新共和国の財務長官。フェンリイ・マックス艦隊の電子戦士官。ル・ラント宇宙軍

士官。フォ・シャン・スー 連邦空軍中佐。リン第二艦隊集団

作戦先任参謀。フェルトリヒ・フォーメル コーラル第一艦隊参

謀長。艦隊総参謀長を兼ねる。フォレリス 航宙母艦『デラスタ』艦長。連邦空軍中佐。

ジュリオ・フォツシュ コーラル国防軍第二艦隊参謀長。クレンベル・フォルツェル・ラント宇宙軍第四(ラング)艦隊

副司令官。ラングを補佐する。アジュ・アリク・ブカ アルドリーシャ艦隊作戦先任参謀。

アウグスト・フライエブルグ 連邦空軍准将。ヒューレル艦隊第二分艦隊司令官最終。

クラゲル・フラウエン 共和国政府国防相のちに軍需相。狂信的な主戦主義者で、“宇宙の大義”が口癖。

マイルス・ミッド・ブラウニング 連邦空軍中佐。情報士官。

アリストティア・フラウンホッフ 連邦暦329年後半の

空軍長官。ナイザルの閣僚。アヤ・フランナ ファーリアの友人。

リュイス・フランナ アヤの父。巡洋艦『トゥリニエール』艦長。

グロースヌイ・プロトボノフ ル・ラント共和国外務長官。

【へ】

フェリー・ペイク 連邦空軍第六艦隊司令官。ヘインズ キンネブ

ロウの副官。ル・ラント宇宙軍士官。ペイゲ 連邦空軍少佐。駆逐艦『アルフガム・サニア』

艦長。ウェンライト・ペイリユフ ル・ラント宇宙軍参

謀中尉。ミュッケルの幕僚。ベトロフ ザモフの部下。ル・ラント宇宙軍士官。

ノイン・ハーフェル 連邦空軍艦載機パイロット。フロイラス・ベルサリウス 大將。ドレド宇宙艦隊最高司

令長官。

ビル・ベントリー

ル・ラント宇宙軍中尉。

ランルサック・ヘンチェ

ドレド戦役時の共和国政府首席。

コーウィン・ベルウィッツ

第一〇艦隊第二分艦

隊司令官。歴戦の戦術家。のち中将。

ニキアス・ペリエ

レーフル・ファウルスの後方戦務

先任参謀。元グラン・ハイ基地の防禦司令官。優れた兵站

指揮官。

ジャンヌ・ミア・ヘリング

中佐。連邦空軍情報

士官。

バルロワ・ベルナルド

連邦空軍准将。ヒューレル艦隊第

一分艦隊司令官最終。

【ホ

ジョフ・ホイットラム

第四艦隊情報参謀。ル・ラント宇

宙軍士官。

ティ・リユン・ホウ

機動歩兵中佐。第三一装甲機動

歩兵連隊連隊長。筋肉の塊のような巨漢だが、大学で経営

修士号を取得している。フレット・ラーグラントとは大学

時代の同窓。

フェルディナンド・ホセ

連邦空軍准将。ヒューレル艦隊航

宙機動集団指揮官最終。

ステイルウエル・ボツセ

連邦空軍第七艦隊司令官。

ホッフア

ヒューロザイオン要塞付きの軍医。

エルリツヒ・ホフマン

ボツクの先任情報参謀。ル・ラン

ト宇宙軍士官。

エドゥアルト・ボツク

ル・ラント宇宙軍中將。

ウェルト・ボラン

伯爵。第二次メルティア紛争時の

メルティア宇宙軍艦隊司令長官。

ヴィザール・ボルゴルフスキー

連邦空軍中佐。

ヒューレル艦隊作戦先任参謀最終

レイヤード・ホルツ

メルティア王国宇宙軍元帥。第二

次メルティア紛争時の宇宙艦隊総司令長官。

【マ

カール・マイヤリンカ

コーラル国防軍第二艦隊参謀長。

ドリユー・ラ・マーク

ル・ラント宇宙軍少将。かつての

ウェスコット・ロークの副司令官で老練の提督。のち、ロー

ナク、ドレسنを補佐して二度にわたって連邦圏深部への

侵攻作戦に参加する。

ウエルズ・マーニング

連邦空軍第六艦隊参謀長。

クローネズ・マールク

ル・ラント宇宙軍に二人しかいな

い元帥の一人。ル・ラントでの内戦“ドレド戦役”の英雄

で天才的な用兵家。やや痩身、おさまりの悪い黒褐色の髪

太い眉と濃い灰色の茫洋とした目の青年。共和国暦〇二年

二月に日生まれ。元々は文学史専攻の大学生。

セルティ・マックス

第五艦隊司令官。人並みはずれた

長身、少し薄くなりかけたうすい茶色の髪とひよる長い手

足、猛烈な早口が特徴。共和国暦〇八年一月に日生まれ。大

学を卒業して就職後、博士号取得のため大学院へ再入学。

博士課程在学中に“学徒動員法”で召集される。マールク

艦隊首脳での最年長。

ファンネル・マクレガー

連邦空軍士官学校予科でのレーフ

ル・ファウルスの同窓生。

カリニン・マラート

連邦空軍兵站中佐。ヒューレル艦

隊後方先任参謀最終。

【ミ

コリン・ミライユ

メルティア・トリグラフ伯爵。黒

髪の“もう少し表情が穏やかであれば絶世の美女”。後に

ターミア辺境宙域の商船団“ザ・コンテス”を率いる独立

商社を作り上げる。

コールドン・W・ミルズ

アルデバラン恒星間連邦の大統領。

ライク・ミュアン

ローナク艦隊の分艦隊司令官。メ

ルティアで戦死。

ネイス・ミュッケル

共和国第一艦隊司令官。淡い色の

癖の少ない金髪、翠色の瞳の端正な青年。柔和な印象にも

かわからず、戦術能力ではマールクを上回るとされる“智

将”。アリシア・ミュッケルの双子の弟。共和国暦〇九年

五月に日生まれ。重力子工学専攻の技術者志望の青年だった

が、意に反して軍人への道を進む。

アリシア・ミュッケル

ネイス・ミュッケルの二卵性双生

児の姉。華麗な黄金色の巻き毛と碧みの強いグリーン色の瞳

の所有者。上院議員。対連邦開戦反対派のリーダー。 “ド

レド戦役”で兵役を強制されるまでは教育学専攻の大学生

で、チア・リーダーも務めていた。“お転婆アーシヤ”と

いう通称も持つ。

ハルディ・ミュレイス

レーフル・ファウルスの旗艦『フェ

アリ・ホーク』号艦長。連邦空軍大佐。

コーネル・ハル・ミュード

コーラル国防軍中佐、

工作員としてメルティアに駐在。ミュールと呼ばれる。

【ム

ジェミー・メイラー

ネイス・ミュッケルの従卒。

ダレイア・メムノン

連邦空軍中佐・アルドリーシャ艦

隊後方先任参謀。

エルヒト・メレンティン

連邦空軍提督。

【モ

モリス

コーラル国防軍第二艦隊先任作戦参謀。

ユイ・モロー

ドレド宇宙軍中將。第五艦隊司令官。

【ヤ

ボビィ・ヤール

連邦政府工部長官。ナイザルの閣

僚。

メル・ヤンデキフィティ

第七艦隊司令官。鉄色の髪と瞳、

攻勢の剽悍さで知られる近接格闘戦闘のエキスパート。志

願兵出身。共和国暦〇九年七月に日生まれ。

【ユ

ユンケ

ル・ラント宇宙軍第二機動歩兵師団第二二四

連隊の大尉。

【ヨ

ユージン・ヨセフスタート

ドレド自治政府首席。

ユースフ・ヨッフエ

マールクの旗艦『ネーベル』艦長。

ル・ラント宇宙軍大佐。

【エ】

ドウルニトウ・ラアム 連邦空軍元帥。連邦空軍総相。軍令・軍政を統括する。連邦空軍のナンバー1。白髪瘦身の紳士であり、文民統制シビリアン・コントロールの維持を第一義にタウナー、レックシーの戦争指導を補助する。ジェフエリー・マーティー・ライナー刑事。メルティア・スルフェイク州ドルス市警の私服刑事。

ドム・ラウス メルティア王国宇宙軍大将。第二次メルティア紛争時の参謀総長。
ラウネ 連邦空軍少尉。『シグナ・フォース』号付き参謀士官。

エリサ・ナーバン・ラウグラント 理学博士。航宙物理学研究所主任研究員。
フレット・ラウグラント 連邦空軍後方勤務本部詰め士官。優れた軍事官僚。

フェレスレット・ラング ドライバオム宇宙要塞防衛司令官。少将。
ミースコラフ・ラジェフナキャソ要塞兵站監。ル・ラント宇宙軍士官。

キャリユマー・リュホルド・ラフ 連邦空軍少佐。戦艦『シグナ・フォース』号砲術長。
レイフティ・ラフィン 第(八)シャブリ艦隊副司令官。
パーカー・ラルディ ヒューレル艦隊前衛部隊指揮官。

戦死。
ファートウリック・ラング 第四艦隊司令官。瀟洒に整えたブラウンの髪と瞳の紳士。元惑星物理学専攻の学生。航宙母艦艦載機戦闘の専門家。共和国暦88年3月5日生まれ。マールク艦隊でも最も冷徹な指揮官。

ティミス・ランダー レーフル・ファウルスの作戦先任参謀。通称ティム。
マーティエス・ラント ル・ラント宇宙軍准将。ローナクとともに連邦圏深部への侵攻作戦に加わる。

【イ】

メイリア・トヒユナ・リアー 水晶体の髪と群青色の瞳を持つ、メルティア王国の王女。“銀河系大戦”開戦直後に希望して、連邦空軍艦隊旗艦『シグナ・フォース』

号に乗り組む。通称メイ。“王女中尉”とも呼ばれる。連邦暦90年4月8日生まれ。
ロムルス・レン・リアー メルティア王国建国当時の指導者。初代メルティア大統領。

ジェフイエス・レン・リアー メルティア王国リアー王朝の開祖。メルティア王朝の“創業の暗黒”を演出し、リアー王朝の独裁制を完成させる。ロムルスの孫。ユフィルス・レン・リアー ジェフイエスの後継者。

トルトウフィ・レン・リアー ラドス侯爵。メルティア行政参事官。ラルク・トヒユナの親友。
ティナー・レン・リアー ラドス侯爵の息子。ラドス小伯爵。ローリア・リアー メルティア第一二代女王。黒髪の絶世の美女。

ルリア・セウレリウス・リアー メルティア第二二代女王。
マルティネス・ドン・リカルド 連邦空軍提督。スミグリイ・リッツ ドレド宇宙軍中将。第二艦隊司令官。

リゾフ 少将。輸送船団護衛指揮官。
テリー・テラサキ・リヴァーズ 連邦総合大学言語学教室の博士課程学生。『古ドルス語』の研究者。共和国公用語の言語体系解明と、連邦公用語への翻訳システムの基本設計に参画。コーティリア・バードフェザーを保護し、結果的に銀河系大戦の引き金を引きつけたを作る。

ペドリック・リュイコフ 少佐。クリースの仲間。ル・ラント宇宙軍士官。
オットー・ランス・リュウメル ペルヴィッツの幕僚の一人。アルドリーシャらとともに抜擢された右手指揮官。リュッヘル ドレド宇宙軍少将。ウォーレンスタインの部将。

リン・シー・ファン 連邦空軍の軍人。アルドリーシャ、ネーベルシュタットとともに、後のレーフル・ファウルス・ネレイドの主要幕僚団を形成する。“前額部からは全面的に後退を完了した”黒い髪の、穏やかそうな青年だが、戦闘指揮の冷徹さで知られる。連邦暦96年6月5日生まれ。イエフ・リンデック 連邦デュレン恒星区政府主席。

アーネスト・イエーゼル・リント コーラル国防軍第四

艦隊参謀長。後に司令官。
ウィンスロー・リンデン 自治政府財務長官。

【ル】

ジュアン・ルージン 新共和国の商務長官。
ロージャ・ルージン ル・ラント共和国宇宙軍兵曹。
ルーク 『シグナ・フォース』号の電子戦士官。
パーヴェル・ルーゼンシュテルン ペルヴィッツの幕僚の一人。超ド級戦艦群を率いる猛将。
ヴァイトリー・ルフエーブル 連邦シユレニア恒星区政府主席。

【レ】

ティム・レイグ 連邦空軍中尉。戦艦『シグナ・フォース』号第四対空班長。
デリック・レーゲル 連邦空軍第一〇艦隊参謀長。のち中将。
カーリッツ・レックシー・タウナーの副大統領。後に、タウナーの後を襲って大統領の地位に就く。
ガオルギ・ハウフト・レカ 連邦空軍提督。
シャウド・レムトウファアン 連邦空軍第一艦隊司令官。中将。
リヴェルト・レンディッツ 連邦空軍国防情報局長。連邦空軍少将。

【ロ】

ゾンマーフェルト・ロヴェル 共和国政府軍需相、のち上院議長。政府与党の領袖。
クリース・ローク マールクの副官。ショートカットの紅茶色の髪と琥珀色の瞳の所有者で極端に無口な女性士官。元本国艦隊司令官ウエスコット・ローク中将の長女。カシニー・ローゼン 外務次官補。小柄な体躯に不釣り合いな堂々たる口ひげの所有者。後に“髭大使”なるニック・ネームを持つようになる。
ヒースクリフ・ローナク 共和国第二艦隊司令官。金髪碧眼の華麗な若者。ミュッケルよりも確実に二回りは幅の広い

体躯の所有者。“勇将ローナク”として恐れられる。共和国暦88年8月25日生まれ。元、レイヴェルゲン大学フットボール・チームのスター・プレーヤー。
リーザ・ローレンス（ネレイド） ナイザル・ネレイドの最初の妻。レーフラム・トゥリユーの母。
ロジ 少将。輸送船団護衛指揮官。
クレイ・ロシュ レアナの警察分署長。
ウェスコット・ローク ドレド戦役時、本国艦隊司令官。
ロメイチェフの友人。クリース・ロークの父。後、軍法会議で刑死する。
ミュトゥレイ・ロメイチェフ ドレド戦役時、ナキャン宇宙要塞駐留機動艦隊司令官。マールクのかつての上官で、マールクの軍事的才能を初めて見抜く。

【2】

ファウネス・ワイアトゥループ 共和国政府蔵相。
アレム・ワイトマン レーフラムの情報参謀の一人。連邦空軍士官。後、アルドリーシャ艦隊情報先任参謀。
エドウィン・マイヤー・ワイルダー レーフル・ファウルスの幕僚の一人。防禦戦を得意とする、初老の提督。
フォルター・ワシエック 共和国宇宙軍参謀本部次長。大將。極端な肥満体と極度の近眼を身体的特徴とする、ドロクの腹心。外見に反して宇宙軍士官学校始まって以来の秀才と言われ、ドロクの意を受けて様々な謀略を巡らせる。
ユン・ル・ワント ル・ラント共和国の始祖。

【3】

【4】